

TE様、本契約ありがとうございます！



今月、正式に平岡町で家を建てさせて頂くTE様と本契約を交わさせて頂きました。TE様、当社を信用して頂き心より感謝致します。

TE様とは土山で去年、家を建てさせて頂いたTO様のご紹介です。お客様にご紹介頂いてご契約をして頂けるなんて、これほど嬉しい事はありません！選ぶ権利は全てお客様にあります・・・たくさん住宅会社もあります、大手ハウスメーカー、地場の有名住宅会社、

ローコスト住宅メーカー、うそつき自然派住宅メーカー(笑)会社が儲かるメーカー(爆)と冗談はこれぐらいにして、本当に・・・

心から感謝しています・・・私は一年にたくさんの家を建てる事は出来ませんが、その分お客様のご要望を心身に受け止め、夢のマイホームを実現して頂く為に様々な角度からご意見を反映させて頂きます。何度も家を建てられる人はいませんが、私が建てたい家はお客様が

10年後も20年後もやっぱりここに頼んで良かったと思って頂ける家です。そして住んでから健康で快適でご家族が笑顔で生活を送って頂ける事が出来る家です。お金を出せばどんな家でも建てる事が出来ますが、それが本当に適正価格なのかどうかは

住宅会社の利益率や考え方によって様々です。私は私を必要として下さるお客様に当社を選んで良かったと

思って頂ける家づくりをするのが私の使命だと思っています。TE様邸も6月には工事に掛かれると思います。

工事内容はブログにて写真付きでUPさせて頂きますので、スマホやパソコンでチェックして下さいね♪\(^o^)/



SK
加古川
通信

第87号
平成26年4月
SKグループから版
御用聞き
白矢公一

SKグループ(株)創美建築企画
本社 京都市伏見区南寝小屋町53番地
WILLHOUSE
兵庫支店加古川支社
加古川市加古川町粟津771の11

御用聞きのひとりごと・・・無事帰国致しました！



ご理解・ご支援・ご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。無事カンボジアより帰国致しました。ちょっとアクシデントで帰りが二日延びましたが、今回のプロジェクトである古着屋のショップのオープンと豚小屋の建築を無事立ち上げる事が出来ました。SKOの子供達も元気で男の子は豚小屋建築のお手伝いと女の子は古着の値札付けや服の陳列など本当によくお手伝いをしてくれました。古着屋のショップの内装工事や看板などは業者にお任せしましたが、豚小屋は子供達と一緒に造りました。道具も少なくともしかしてと思いノコギリと差し金とスケールは日本から買って持って行っていたのですが、売ってました(笑)その他の必要な道具は現地調達しましたが、やはり日本の物とは精度が全然違うのでてこずりました。材木もろくなもんでありませんでしたが何とか完成出来ました。子供達は本当によくがんばりました。子供達は自分達にもやれば出来るんだ！と言う自信につながった事と思います。子豚も6匹買いました。世話は子供達全員でします。大きくなれば売って新しい子豚を買いその残りのお金で学校へ行く費用にします。また古着屋のショップで売れたお金は経費を差し引いてその残りをSKO孤児院の運営費用にします。いつまでも支援金に頼ってはいけませんそして私達もいつまでも生きてはいけません…仕事が無い、お金が無いと言うのなら自分達で作るしかないので。まだまだご協力頂かなければ孤児院の運営は厳しい状況ですが、このプロジェクトが成功し、子供達が自分達の手でいつの日か自立してくれる事を願ってやみません。カンボジアの国ではこういった個人の孤児院には国から何の支援も無いのが現状です。親から捨てられた子供達…虐待や人身売買から保護された子供達…辛い過去を引きつりながらも懸命に頑張る子供達…将来、絶対に幸せにしてあげたい！そして自分の力で生きる人間になって欲しい！それが私の原動力です。これからも支援して行きます。こうして活動出来るのも全てはご理解・ご支援・ご協力くださる皆様のお蔭です。本当に心より感謝致します。お仕事を依頼して下さるお客様がいらっしゃるので私はこうして活動に参加出来ます。本当にありがたい事です。そして…大西会長に感謝…私をこの活動に導いてくれて、自由にさせてくれる…私の人生は大西会長のお蔭で変わりました。この人がいなければ今の私はありません、師匠であり、かけがえのない兄です。今回も豚小屋建築で自らコンクリートを練ったり作業したりと本当に凄い行動力、心から尊敬しています。そして今回同行された理事の米盛氏・久保氏・粟津氏にも心から感謝します。米盛氏は闘病生活の中、古着屋のショップの事が気かりで抗がん剤治療を受ける前にとカンボジアにきました。すべては子供達の為…自分が同じ立場なら…本当に凄いなと思いました。またノリア職業訓練学校では発注していたバックを仕入れ、現在石垣島の自分のショップで売ってます。売り上げの一部はアジア子供輝基金に寄付してくれるそうです。私が出来た事なんて、たかがしれてます。それでもご理解・ご支援・ご協力くださる方がいる以上、そして私を必要としてくれるSKOの子供達がいる以上、出来る限りの事をこれからも続けて行きたいと思えます。改めて、五体満足である事に感謝、健康でいられる事に感謝、現在の日本の国に産んでくれた親に感謝、ご飯が食べられる事に感謝、安全な水が飲める事に感謝、自由にさせてくださる会社に感謝、お仕事を頂ける事に感謝、働ける事に感謝、生かされている事に感謝、そして…人様に必要として頂ける事に感謝して…これからも戦い続けます…あるべき姿の為に…



御用聞き しらや こういち